景気動向調査の概要【2020年1月～3月】

令和２年４月23日
富山商工会議所

「緩やかに後退または後退」との回答が約９割となり景気の後退感が強まる

～ ＤＩは更に悪化、来期の見通しも悪化が大幅に増加 ～

景気の現状は「後退している」との回答（58.6%）が最も多く、前期比47.9ポイントと大幅増加となり「緩やかに後退している」との回答（31.0%）をあわせると約９割となる結果となった。

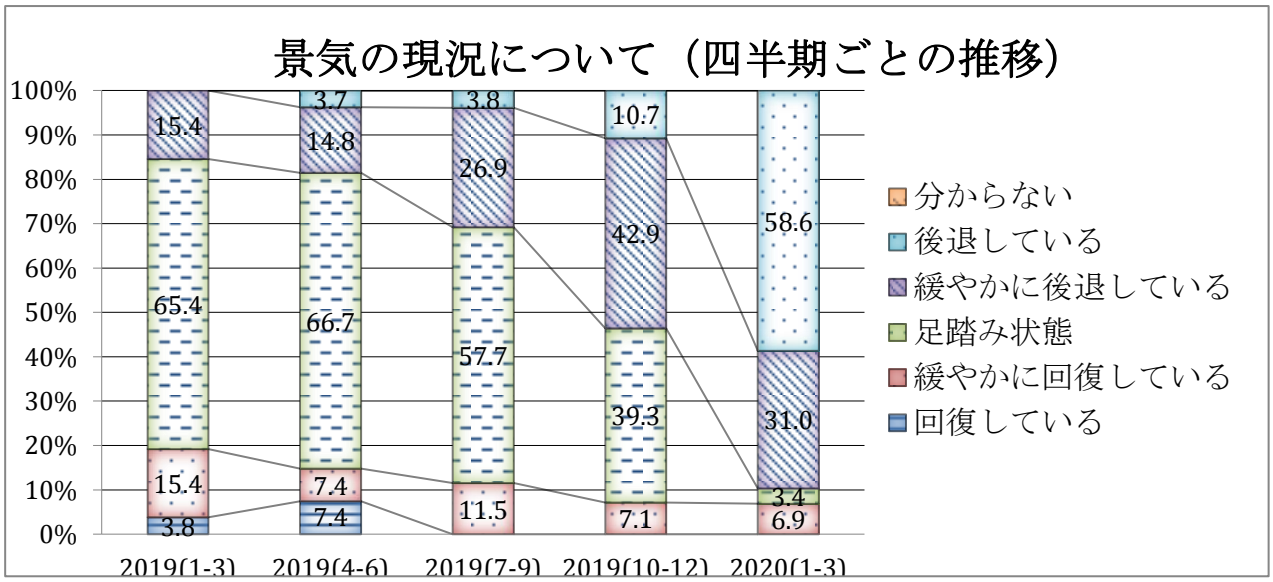
前期との比較ではDIが△62.1（前期 △46.4）と15.7ポイント悪化、来期の見通しについてもDIが△79.4（前期 △46.5）と32.9ポイントの大幅な悪化を示すなど、新型コロナウイルスの影響が景気の先行きに大きな影を残す結果となった。

＜実施要領＞

１．調査実施期間　2020年3月16日～3月27日
２．調 査 対 象　当所景気モニター企業　29社
３．調 査 方 法　調査票を郵送しＦＡＸで回収
４．有効回答数　29社（回収率100%）

※今期の調査は通常の調査項目に代えて新型コロナウイルスの影響調査を実施しています。（新型コ
ロナウイルスの影響に関する調査結果は別紙参照ください）

１．景気の現況について（四半期ごとの推移）



２．前期との比較と来期の見通し

		2019年 1-3月期	2020年 4-6月期	2020年 7-9月期	2020年 10-12月期	2020年 1-3月期
前期比	好転	26.9	18.5	28.0	17.9	3.4
	不変	53.8	63.0	32.0	17.9	31.0
	悪化	19.2	18.5	40.0	64.3	65.5
	ＤＩ	7.7	0.0	△ 12.0	△ 46.4	△ 62.1
来期の見通し	好転	23.1	14.8	24.0	7.1	3.4
	不変	65.4	70.4	36.0	39.3	13.8
	悪化	11.5	14.8	40.0	53.6	82.8
	ＤＩ	11.6	0.0	△ 16.0	△ 46.5	△ 79.4